



手をあげて元気に渡る園児

手をあげて！左右を見て！

よい子の交通安全の集い

「よい子の交通安全のつどい」が4月12日、八鹿町朝倉の但馬運転免許センターで行われ、市内の保育園と幼稚園の園児計264人が参加しました。これは、養父署と八鹿交通安全協会が春の交通安全運動にちなんで開いたものです。

当日は、石井晃署長が「外で遊ぶときは車に気をつけ、飛び出さないようにしましょう」と園児らにお話。続いて白バイのスラローム走行を見学したり、横断歩道の渡り方を教えてもらいながら楽しく交通ルールを学びました。



赤米を担いで力強く行進する児童たち

地域で育てた赤米を献上

小佐小学校児童が平城遷都祭に参加

昭和38年の平城京跡発掘調査の際、小佐から平城京へ赤米を5斗納めたことを記した木簡が発掘されました。これにちなんだ取り組みとして、小佐小学校では「赤米のふるさと小佐に学ぶ」をテーマに、15年前から赤米づくりに取り組んでいます。

平成12年からは、奈良市で行われる平城遷都祭に6年生が参加。今年も4月28日、小佐小学校で遷都祭出発式が行われ、献上隊（6年生10人）を代表して森元弘樹くんが「地域の皆さんに教えてもらいながら作った赤米を献上してきます。お見送りありがとうございます」と出発のあいさつをしました。

その後、全校児童37人が妙見国指定100年記念行事で作った古代衣装をまとい、昨年収穫した内、約15^{キロ}の赤米を担いで赤米田の入り口まで力強く行進。献上隊は地域の人に見守られて奈良へ出発しました。

社会人のマナーと心得を学ぶ 新社会人激励会・研修会

今春、南但地域の事業所に就職した新入社員への「激励会・研修会」（南但雇用開発協会・八鹿公共職業安定所主催）が、4月15日に国木のこざくらを会場に行われました。

今年は、養父市内の事業所に就職した21人を含む28人の新社会人が参加。藤本兵庫県議会議員をはじめ来賓から「少子高齢化の中で、皆さんのような若い力が地域に残りとても嬉しく思います。これからは、社内にとどまらず地域の中で活躍されることを期待します」と激励を受けました。

研修会では、あいさつや名刺の受け渡しなどを実践し、社会人のマナーと心得を2時間にわたって熱心に受講しました。



名刺の受け渡しを実習する新社会人